

田口線廃線跡探訪シリーズ

2/3日

第1回 第6回 地元ガイドと歩く！奥三河に残された田口線廃線跡めぐり

4/20土
Y-099

●豊橋(9:00)ー豊川駅東口ー本野ヶ原ー田口線ガイドウォーク(本長篠駅～内金トンネル～大井川橋梁跡、三河大草駅跡)ーかさすぎ(昼食)ー設楽町田口地区(田口線の車両見学)ー田口線ガイドウォーク(三河海老駅跡～双瀬トンネル～山びこの丘、資料館見学)ー本野ヶ原ー豊川駅東口ー豊橋(18:00予定)

ここが再発見！ 廃止から50年を迎えた田口線。今回はガイドと共に見どころ満載の廃線跡を歩きます。これまでの田口線シリーズには含まれていなかった新たな区間も歩くことができます！歴史と当時の面影を懐かしみながら歩きませんか？

このツアーでは ガイドウォーク(約5km)があります。歩きやすい服装でお越しください。暗い場所を歩く場合があります。懐中電灯をご用意下さい。



当時の双瀬トンネル 現在の双瀬トンネル

2/24日

第2回 設楽ダム工事現場の特別見学と田口線廃線跡ガイドウォーク

Y-099

●豊橋(9:00)ー豊川駅東口ー本野ヶ原ーレストラン山河(昼食)ー設楽町田口地区(田口線の車両や三河田口駅跡の見学)ー設楽ダム工事現場見学ー田口線跡ガイドウォーク(三河田口駅跡～清崎駅跡付近)ー道の駅もつくる新城ー本野ヶ原ー豊川駅東口ー豊橋(18:00予定)

ここが再発見！ 廃止から50年を迎えた田口線。今回は設楽ダムの建設で訪れることができなくなる三河田口～清崎の区間をガイドと共に歩きます。また、このコースは設楽ダムの工事現場も特別に見学できます！田口線の歴史と未来の姿、両方を感じながら廃線跡を歩きませんか？

このツアーでは ガイドウォーク(約5km)があります。歩きやすい服装でお越しください。暗い場所を歩く場合があります。懐中電灯をご用意下さい。



三河田口～清崎ガイドウォーク 田口線車両

設楽ダム工事現場見学

3/5火

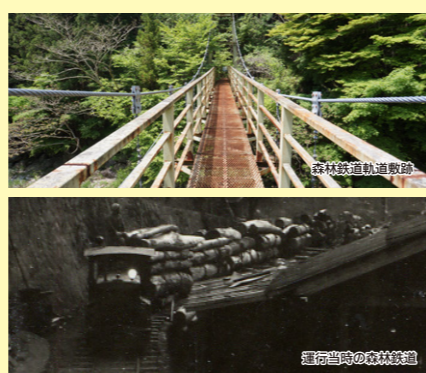
第3回 特別企画 第5回 田口線の、その奥へ。～知られざる設楽森林鉄道跡を訪ねて～

3/30土
Y-099

●豊橋(9:00)ー豊川駅東口ー本野ヶ原ー三河大草駅跡(駅跡までガイドウォーク)ーかさすぎ(昼食)ー設楽町田口地区(田口線の車両見学とダム工事現場見学)ー設楽町大名倉地区(森林鉄道軌道敷跡のガイドウォーク)ー道の駅もつくる新城ー本野ヶ原ー豊川駅東口ー豊橋(18:30予定)

ここが再発見！ 地元に残る貴重な資料を手がかりに、ガイドと軌道跡を歩きながら愛知県を走った知られざる森林鉄道の歴史を紐解きます。また、設楽ダム工事現場と併せて地域の植物もご覧いただけます。

このツアーでは ガイドウォーク(約6km)がありますので、歩きやすい服装でお越しください。暗い場所を歩く場合があります。懐中電灯をご用意下さい。



森林鉄道軌道敷跡

運行当時の森林鉄道

3/13水

第4回 田口線廃線跡をもっと歩こう!! 双瀬トンネルへガイドウォーク

Y-099

●豊橋(9:00)ー豊川駅東口ー本野ヶ原ー田口線ガイドウォーク(三河海老駅跡～双瀬トンネル～山びこの丘)ー山びこの丘(棚田米彩り釜めしの昼食、資料館見学)ー田口線ガイドウォーク(三河大草駅跡、大井川橋梁跡～内金トンネル～本長篠駅)ー本野ヶ原ー豊川駅東口ー豊橋(18:00予定)

ここが再発見！ 2018年に廃止から50年を迎えた田口線の廃線跡をガイド付きで歩きます！これまでの田口線廃線跡探訪シリーズでも未設定のコースです！岩盤をくり抜いたようなつくりをした双瀬(ならせ)トンネルなど、まだ知らない廃線跡と一緒に歩きませんか？また、昼食は日本の棚田100選にも選ばれている四谷千枚田の棚田米を使用し、旬の食材を味わうことができます！

このツアーでは ガイドウォーク(約5km)があります。歩きやすい服装でお越しください。暗い場所を歩く場合があります。懐中電灯をご用意下さい。



棚田米彩り釜めし

長篠の河津桜

当時の双瀬トンネル

特別企画 田口線の、その奥へ。～知られざる設楽森林鉄道跡を訪ねて～

田口線に接続した森林鉄道

1968年8月31日に廃止された豊橋鉄道田口線を起点とした森林鉄道は当時の帝室林野管理局により田口と田峰に敷設され、この二つを総称して森林鉄道段戸山線と呼びました。段戸山の御料林(旧憲法下で皇室所有の森林)から切り出す木材を三河田口駅と田峰駅まで運び、田口線で輸送するために作られた森林鉄道です。御料林の木材輸送を、非効率的な河川利用から、鉄道輸送に転換しようとしたのです。

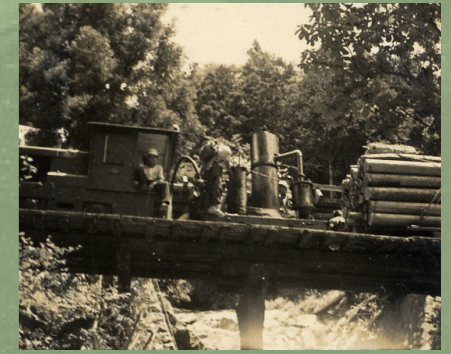
車は何も積まずにそのまま森林鉄道の始点(田口や田峰)へ帰ってきたといます。切り出して土場まで下ろされた木材を積み込み、一杯になると一人ずつトロッコに乗り軌道の坂を下り森林鉄道始点へ戻ってきたそうです。ほとんどが下りのため動力は必要なく、ブレーキをかけるだけで始点まで辿り着くことができました。

こうした森林鉄道の軌道敷跡は今もなお残されており、その一部は東海自然歩道として楽しまれています。こんなところに鉄道が走っていたなんてという驚きと面影を奥三河の春の自然とともに体感しませんか？



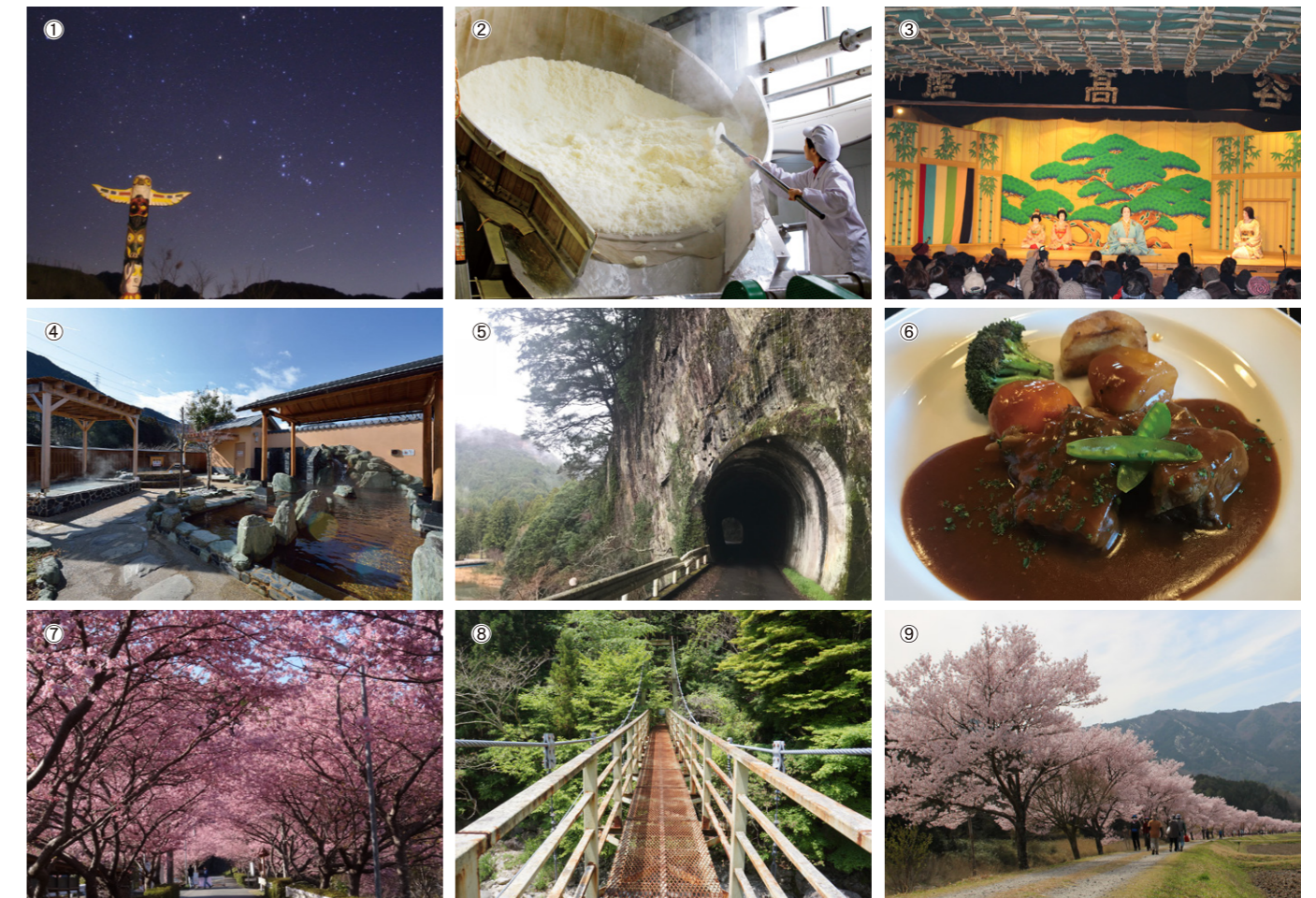
【段戸山線概要】

- 田口本谷線(本線) 9462m 昭和15年～昭和28年
- 田口榎尾線(支線) 5851m 昭和9年～昭和27年
- 田峰鯉沢線(本線) 18800m 昭和6年～昭和28年
- 田峰栃洞線(支線) 7220m 昭和7年～昭和26年



「森林鉄道段戸山線」今昔をもとに作成

自然と伝統が織りなす冬～彩り豊かな春の奥三河へ



- ①奥三河の星空[再発見第4回]
- ②関谷醸造酒蔵見学[再発見第2回]
- ③田峰観音奉納歌舞伎[再発見第3回]
- ④とうえい温泉[再発見第2回]
- ⑤双瀬トンネル[田口線第1回・第4回・第6回]
- ⑥段戸牛シチュー[再発見第6回]
- ⑦長篠の河津桜[再発見第7回]
- ⑧森林鉄道軌道敷跡[田口線第3回・第5回]
- ⑨名倉コヒガン桜[再発見第9回・第10回]